

脳科学総合研究センターがアドバイザリー・カウンスル(BAC)を開催

脳科学総合研究センター(BSI)では、BSIの運営および研究計画とその進捗に関し外部有識者からの意見を聞くため、国内外の委員からなる標記カウンスル(BAC)を設置し、第1回会合を2月18日から2月20日まで開催しました。BACは国際HFSP推進機構事務総長のクエノ博士(スイス)をはじめ外国人委員9名、日本人委員10名で構成され、18日は事前ミーティング、19日は理研及びBSIの概要説明、7つの研究グループと先端技術開発センターの各研究グループディレクターによる研究計画の説明と質疑を行い、その後各研究室を視察しました。最終日の20日はBAC委員による討論と報告書のとりまとめが行われ、短期間での設立、「知る」「守る」「創る」の3研究領域体制とそのチーム構成などが高く評価されました。

今後BACは毎年開催され、BSIひいては脳科学全般の発展に寄与することが期待されています。